交付運用報告書

Asset Management One

短期ハイイールド債券ファンド（ヘッジあり）
＜愛称：ヴィンテージ＞

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。
さて、ご投資いただいております「短期ハイイールド債券ファンド（ヘッジあり）」は、2019年５月７日に第13期決算を行いました。
当ファンドは、主として海外の短期高利回り社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年10月31日～2019年５月７日

第13期	決算日：2019年５月７日	
第13期末（2019年５月７日）	基準価額	9,957円
	純資産総額	792百万円
第13期	騰落率	0.9%
	分配金合計	0円

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 0120-104-694
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）

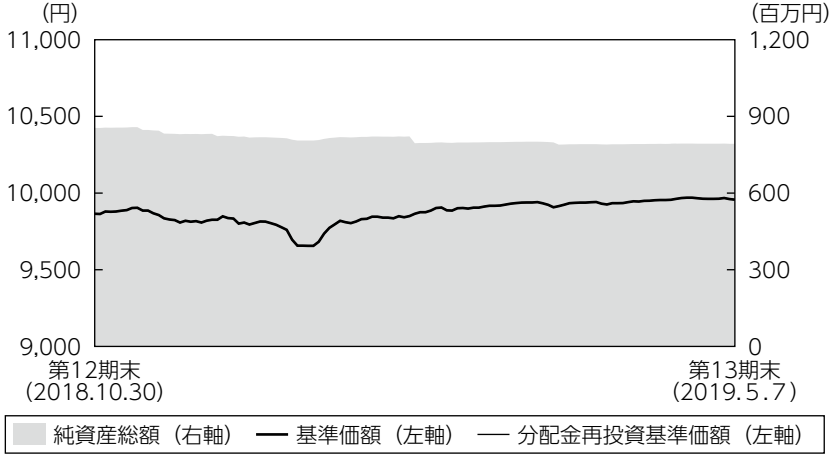
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2　http://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

基準価額等の推移



第13期首：　9,865円
第13期末：　9,957円
（既払分配金0円）
騰　落　率：　0.9%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注５）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドはアイルランド籍の外国投資信託「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジドＪＰＹインカムＳユニット」（以下、「ＳＤＨＹ円ヘッジユニット」といいます。）と国内投資信託「日本短期公社債マザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。主として海外の短期ハイイールド債券に実質的な投資を行い、安定的な収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。また、ＳＤＨＹ円ヘッジユニットにおいて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

上記の運用を行った結果、当期における基準価額は上昇しました。

上昇要因

短期ハイイールド債券市場が上昇したこと。

下落要因

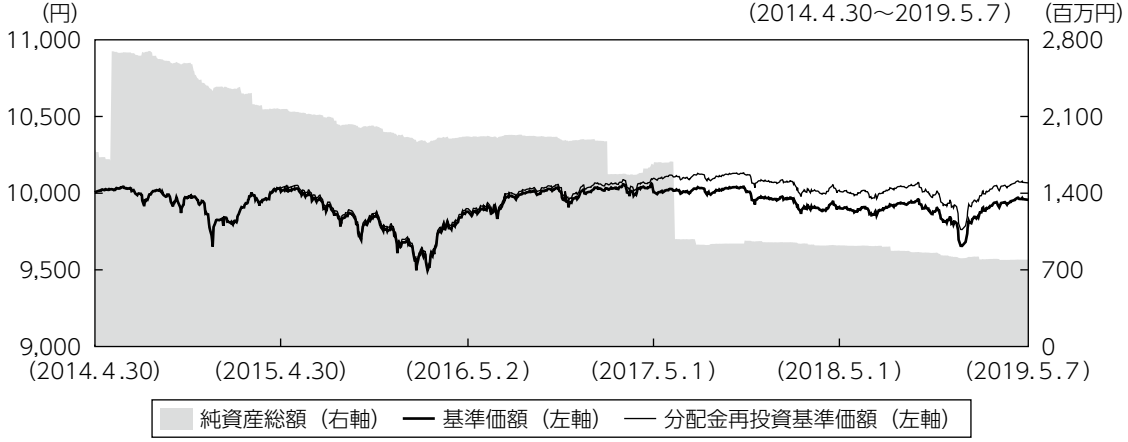
対円での為替ヘッジに伴う、日米短期金利差相当分のコスト。

１万口当たりの費用明細

項目	当期（2018年10月31日～2019年５月７日）		項目の概要
	金額	比率	
（ａ）信託報酬	60円	0.604%	（ａ）信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,863円です。
（投信会社）	(19)	(0.196)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(39)	(0.391)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
（ｂ）その他費用	0	0.002	（ｂ）その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	60	0.606	

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第４位を四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。
（注５）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては組入ファンドの概要に表示することとしております。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2014年４月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年4月30日 決算日	2015年4月30日 決算日	2016年5月2日 決算日	2017年5月1日 決算日	2018年5月1日 決算日	2019年5月7日 決算日
基準価額（分配落）　(円)	10,006	10,010	9,879	10,007	9,910	9,957
期間分配金合計（税引前）　(円)	－	20	0	70	20	0
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	0.2	△1.3	2.0	△0.8	0.5
純資産総額　(百万円)	1,795	2,164	1,918	1,658	923	792

（注１）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注２）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。
（注３）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注４）投資信託証券を通じて主として海外の短期高利回り社債に実質的に投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数等がございません。よって、ベンチマーク等は特定しておりません。

投資環境

●短期ハイイールド債券市場

短期ハイイールド債券市場は上昇しました。2019年に入り、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が政策金利の引き上げを見送る方針を示したことなどから、米国国債の価格上昇（利回り低下）に連動して短期ハイイールド債券市場の価格が上昇したことや、安定した利回り収入が、その要因となりました。

●国内短期金融市場

残存１年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

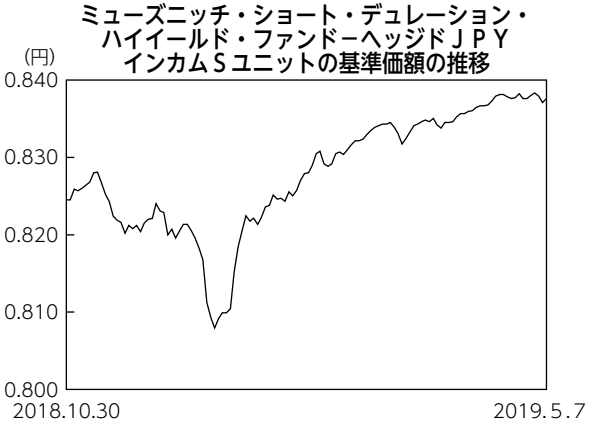
●当ファンド

ＳＤＨＹ円ヘッジユニットの組入比率を高位に維持しました。また、日本短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

●ＳＤＨＹ円ヘッジユニット

主として海外の短期ハイイールド債券に投資することで、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

2019年４月末時点でのポートフォリオの状況は、保有銘柄数が222銘柄、国別では、米国の組入比率を89％と高めに維持しました。信用格付け別ではＢ格、ＢＢ格を中心とし、業種別ではエネルギー、ヘルスケア、通信などの組入れを高めとするポートフォリオを構築しました。また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。



※基準価額は１口当たりです。
※当期間における分配金を再投資したものとして計算しています。

●日本短期公社債マザーファンド

主として円建ての公社債に投資することにより安定した収益の確保を目指してきましたが、ファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み入れはありません。

ベンチマークとの差異について

投資信託証券を通じて主として海外の高利回り社債に実質的に投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数等がございません。よって、ベンチマーク等は特定していないため、グラフは掲載しておりません。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第13期 2018年10月31日 ～2019年５月７日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,012円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ＳＤＨＹ円ヘッジユニットを高位に組み入れる方針です。また、日本短期公社債マザーファンドの組み入れを継続する方針です。

●ＳＤＨＹ円ヘッジユニット

米国のハイイールド債券を中心に、ハイイールド債券の中でも相対的に信用格付けが高めで、残存期間が短い銘柄を指向しつつ、市場動向を考慮して慎重に銘柄選択を実施します。

世界経済のけん引役となる米国のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）については、企業業績の伸びが徐々に減速する可能性があるものの、歴史的な低水準で推移するデフォルト率などが示すように依然として良好であり、ハイイールド債券市場を支える要因になると考えます。一方、米中貿易摩擦の影響や政治・経済基盤が不安定な国の動向などには、細心の注意が必要と考えます。

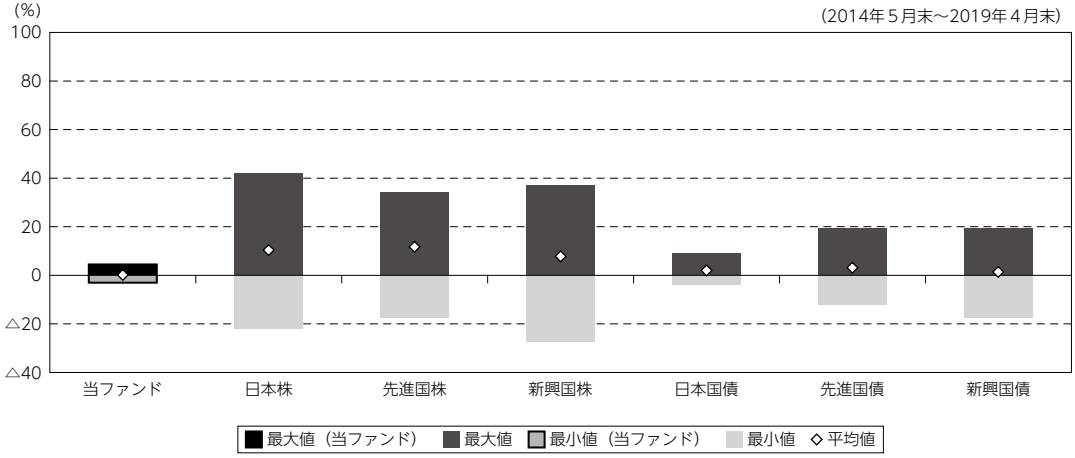
●日本短期公社債マザーファンド

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年11月１日から2022年10月28日までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	短期ハイイールド債券ファンド（ヘッジあり）	投資信託証券。
	ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジドＪＰＹインカムＳユニット	海外の短期高利回り社債。
	日本短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として海外の短期高利回り社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 アイルランド籍外国投資信託 　ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジドＪＰＹインカムＳユニット（以下「ＳＤＨＹ円ヘッジユニット」といいます。）円建受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 　日本短期公社債マザーファンド受益証券 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、ＳＤＨＹ円ヘッジユニットの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 当ファンドの資金動向、市況動向等によっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、投資信託証券からの分配金水準等を参考に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	4.4	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△3.0	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	0.2	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2014年５月から2019年４月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

各資産クラスの騰落率について
騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

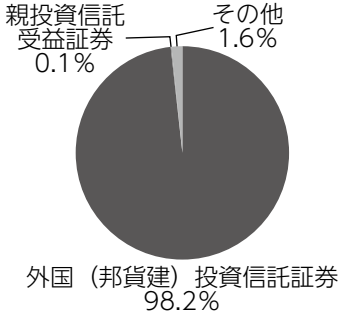
当ファンドの組入資産の内容（2019年５月７日現在）

◆組入ファンド等

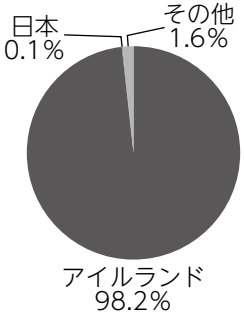
	第13期末
	2019年５月７日
ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジドＪＰＹインカムＳユニット	98.2%
日本短期公社債マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

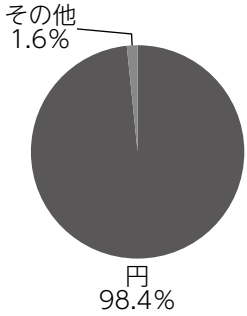
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注３）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注４）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

純資産等

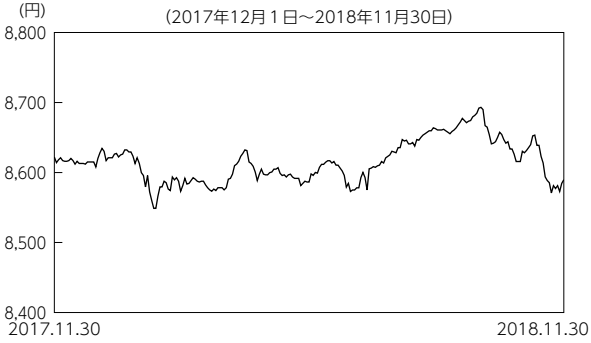
項目	第13期末
	2019年５月７日
純資産総額	792,693,199円
受益権総口数	796,087,684口
1万口当たり基準価額	9,957円

（注）当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は70,228,925円です。

組入ファンドの概要

[ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジドＪＰＹインカムＳユニット]

◆基準価額の推移



◆１万口当たりの費用明細

(2017年12月１日～2018年11月30日)

当該期間の１万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

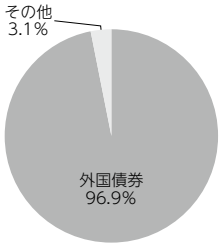
◆組入上位10銘柄

(2018年11月30日現在)

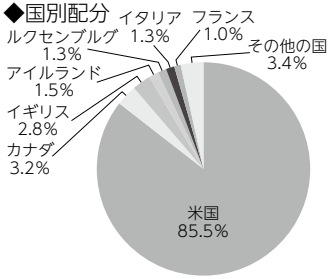
	銘柄名	業種名	通貨	国（地域）	比率
					%
1	Csc Holdings Llc 10.125% 2023/1/15	ケーブル／衛星テレビ	米ドル	米国	1.6
2	Sinclair Television Grou 5.375% 2021/4/1	放送	米ドル	米国	1.5
3	Clear Channel Worldwide 6.5% 2022/11/15	メディア	米ドル	米国	1.4
4	Sprint Corp 7.875% 2023/9/15	通信	米ドル	米国	1.3
5	Reynolds Grp Iss/reynold 5.9363% 2021/7/15	容器・梱包	米ドル	米国	1.3
6	Michaels Stores Inc 5.875% 2020/12/15	小売	米ドル	米国	1.3
7	Mgm Resorts Intl 6.75% 2020/10/1	カジノ・ゲーミング	米ドル	米国	1.2
8	Cco Hldgs Llc/cap Corp 5.25% 2022/9/30	ケーブル／衛星テレビ	米ドル	米国	1.2
9	Centene Corp 5.625% 2021/2/15	ヘルスケア	米ドル	米国	1.2
10	Mallinckrodt Fin/sb 4.875% 2020/4/15	ヘルスケア	米ドル	米国	1.2
組入銘柄数		204銘柄			

（注１）比率は「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンド」のポートフォリオ部分に対する評価額の割合で、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。
（注２）「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンドーヘッジドＪＰＹインカムＳユニット」は、「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンド」の個別ユニットとなっております。
（注３）上記の表は、ミューズニッチ・アンド・カンパニー・インクが作成したデータをもとに記載してあります。
（注４）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注５）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

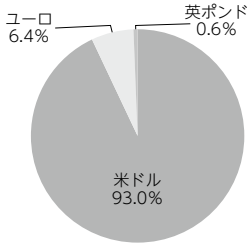
◆資産別配分



◆国別配分



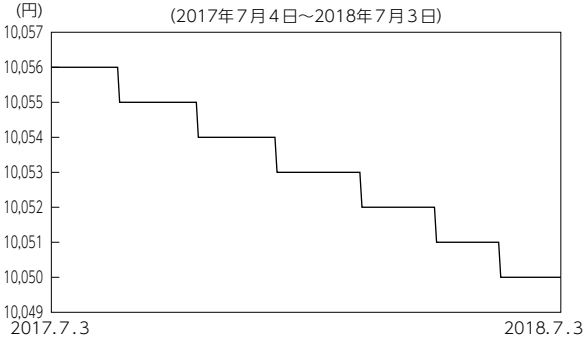
◆通貨別配分



（注１）資産別配分は「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンド」の純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
（注３）国別配分、通貨別配分の比率は、「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンド」のポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注４）「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンド－ヘッジドＪＰＹインカムＳユニット」は、「ミューズニッチ・ショート・デュレーション・ハイイールド・ファンド」の個別ユニットとなっております。
（注５）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注６）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。
（注７）円ベース投資での為替リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。
（注８）上記のグラフは、ステート・ストリート・ファンド・サービシーズ（アイルランド）リミテッド提供の財務書類および、ミューズニッチ・アンド・カンパニー・インクが作成したデータをもとに記載してあります。

[日本短期公社債マザーファンド]

◆基準価額の推移



◆１万口当たりの費用明細

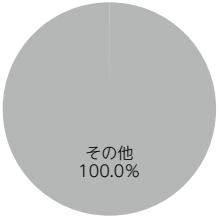
(2017年７月４日～2018年７月３日)

該当事項はございません。

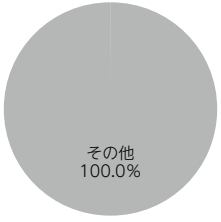
◆組入上位10銘柄

2018年７月３日現在、有価証券等の残高はございません。

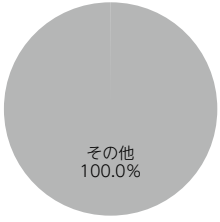
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）

Asset
Management
One